

令和6年揖斐川町長選挙 立候補者アンケート

岡部 榮一 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々な住民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、揖斐川町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

「自助・共助・公助」という言葉が最近よく聞かれますが、この言葉は主に防災面でよく使われます。

しかし、この言葉というか考え方は防災に限らず、あらゆる分野で、共通して採り入れる考え方であると思います。

今回ご質問の地域の課題解決、あるいは良いまちづくりの面でも、重要な考え方であると思います。その中で共助と言う考え方、つまり地域の人々で出来ることは、地域でしっかりとやっていくという中で、その母体となるものが住民の皆さんの様々な形の団体であり、この点において、まちづくり・地域づくりにおいて、共助を担う各種住民団体に、大いに期待しています。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

揖斐川町では『みんなでつくる「小さな一歩」応援事業』など、NPO等への活動支援施策を行っております。今後もNPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

ご質問の中にもあったように、揖斐川町では、地域づくり、まちづくりに取り組む団体を支援するための補助金制度を創設しており、これまでに多くの交付実績があります。今後共、こうした支援制度の内容の充実も検討しながら、活動支援を継続していきます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「揖斐川町 第2次総合計画 基本施策23 協働まちづくりの推進」では住民活動・地域活動への支援など協働による事業の充実について書かれています。今後も揖斐川町のまちづくりのために、揖斐川町とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

質問①でお答えしたように、今後のまちづくり・地域づくりにおいて、「自助・共助・公助」は重要な考え方であり、そうした中で「共助」の部分において、各種住民団体の活動に対して大きく期待するものであり、今後も「自助・共助・公助」を担う「個人・住民組織・行政」が三位一体となって連携していくことが重要と考えます。

ご協力ありがとうございました。